

Sky High

2020/1/30

受験生としての心構えを

高校に入学してから、もう2年間が過ぎようとしています。本当に月日が経つのは早いものです。高校2年生になって「時は金なり」という言葉が身にしみて分かったのではないのでしょうか。

みなさんにとって、この2年間はどのような2年間だったのでしょうか？ 大部分の人にとっては、部活動や友だちとの語らい、宿題や勉強など「時間に追われて」過ごしてきたように思います。

いずれにしてもあと2か月もすれば3年生へと進級します。3年生になると全員が「受験生という立場」になります。人生を左右する1年間は、今までのように安易な過ごし方では許されません。テレビをだらだらと見ていたり、スマートフォンやゲームなどに熱中したりという生活からは脱却しなければなりません。自分の将来の進路を決定することから考えると、3年生は人生の中で最も意味のある時期かもしれません。

3年生での進路決定が円滑に行われるために、3年生になるまでのこの時期を大切に活用する必要があります。4月までの2か月余りを、計画的に進路目標へ近づけるような準備をしてほしいと思います。これからは時間を有効に利用する方法を身につけなければなりません。2年生の総まとめをしっかりと行いながら、受験生としての心構えを作ってください。



志望校を選んだ理由が言えますか？

進学をする目的は、将来なりたい自分になるために必要な「力」を身につけることです。将来なりたい自分や活躍している自分を思い描き、進学先できちんとした知識や技術を身につける必要があります。この知識や技術がないと、将来なりたい自分や活躍している自分に近づけないどころか、就職できぬ事態や、ニートやフリーターになってしまうという事態も考えられます。ちなみに、フリーターを一生行っただけの生涯年収は6, 840万円。正社員の場合はその3倍ぐらいとなります。希望する仕事に就き、「なりたい自分」になるため、将来、役立つ知識と技術が身につけられる進学先に進みましょう。そもそも進学先で将来の自分に役立つ知識と技術とは、どうやって身につけられるのでしょうか。

そこで求められるのが、進学先での学び方。例えば、大きな教室で教授や先生が講義したり、学生同士が少人数で議論しながらひとつの話題について研究したり、実際の仕事と同じようなこと、または実際の仕事をしながら学んだりというイメージがあると思います。いずれにしても、高校生の今よりももっと自分から進んで学ぶことが重要になります。「自分から進んで学ぶ」ということは、自分が学んで楽しい学問や仕事を選択する必要があります。そのように、自分が学んで楽しい学問や仕事だからこそ、好きになれるし、後悔もしません。ただ、自分自身、「何を学びたいのか分からない」、「何に向いているのか分からない」という人は、周囲の人たち（保護者の方、ご家族、先生方、先輩など）に長所や向いている職業などを聞いてみるのもよいかもしれません。自分では気づかないことを教えてくれることがあります。

続いて、学校探しのポイントについてしっかりおさえておきましょう。将来の目標と志望校（学部・学科・コース）のつながりを理解し、「〇〇になりたいので、△△大学□□学部◇◇学科を志望します。」と言えるような志望選択をするようにしたいものです。

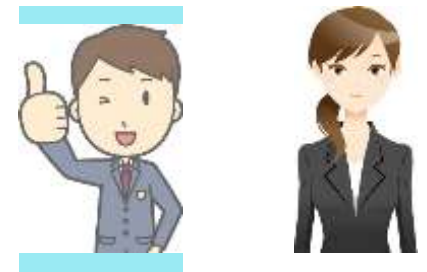
みなさんの中でAO入試（来年度からは「総合型選抜」）や推薦入試（来年度からは「学校推薦型選抜」）を考えている人もいると思います。これは、書類選考、面接、小論文、プレゼンテーションなどによって、受験生を総合的に評価する「人物重視」の選抜方法で、一般入試に先行して行われるものです。現在、私立大学の場合は入学者の約5割を占めています。エントリーシートや願書に「志望理由書」を書かなければなりません。また、一般入試で受験する場合にも、なぜその志望校を目指しているのかということに気づき、目標を明確にするために2年生の今の時期に書いてみるとよいと思います。

志望理由書は、言ってみれば「ラブレター」です。「①なぜ、その学校を志望したのか（理由・動機）」、「②志望することになったきっかけ」、「③進学後、卒業後の自分の将来像」、「④自分の目標を達成するために強みとなる志望校の特徴」という、4部構成で書かれていると良い志望理由書と言えます。いずれにしても、「今、動かなければ何も始まらない」ということです。

出願の時期になって頭を悩ます人がたくさんいますが、実はこのようなことは間違っています。進路選択をする今こそ、頭を悩ませて志望の動機を考えてほしいと思います。

みなさんが就職して収入が得られて、自家用車を購入するとしみましょう。車好きのお父さんやお兄さんは、車を買う前にどんなことをしますか？ まずはカタログを集めて毎日暗記するくらい眺めます。そして雑誌を買ってきて自動車評論家のコメントを読みます。実際に販売店に赴き、自分の目で見て、シートに座ってみたり試乗してみたりします。寝ても覚めても車のことで頭がいっぱいになります。これは大学や専門学校を受験するときも同じなのです。その学校についてパンフレットがボロボロになるまで毎日読み、複数の受験雑誌やその学校のホームページなどで調べ、先生にその学校の評判を聞き、オープンスクールなどで実際に大学を見てくるということを、ぜひ行ってほしいと思います。そうすると、「〇〇大学や△△専門学校の良いところ」が見えてきます。施設面、力を入れている教育、卒業生の就職状況、興味のある講義、部活動の活躍、立地面の魅力など、その学校の良いところが見えてきます。そして、「将来、自分は〇〇になりたい。その目標を実現するためには、△△大学××学部◇◇学科が最適だ。」と胸を張って言えるようになります。

興味のある大学・専門学校の徹底的な研究を行ったり、見に行ったりということを2月から春休みにかけて着実に実践していきましょう。



魅力的な男性は？ 素敵な女性は？

ある大阪の化粧品会社の若い女性に、「男性のどんなところに魅力を感じますか？」というアンケートをとった記録があります。その化粧品会社のアンケート結果は、

女子大生は、男性の	①目	②唇	③手
OLは、男性の	①目	②手	③背中

に魅力を感じるということでした。

父親は背中で教育するとか、役者は「背中で演技ができる人は一人前の役者である」とかよく言われます。この調査で分かるように、若い女性は男性の「目」に一番魅力を感じているのですね。男性の髪型や足の長さ、ファッションには魅力は持っていないようですね。女性は男性の「力強い、誠実な精神なまなざし」がお気に入りなのですね。

ところで、街中や学校内を見渡してみると、男子学生の中に髪型や服装をひどく気にしている人が見受けられます。それを見ている周囲の者は、「一種の空しい同情」があるだけです。

人間は外見だけではないのです。若い女性たちは男性の「力強い、誠実な生き生きとした目」を望んでいます。自分の目の中に「将来の壮大な夢や希望」を輝かせてください。中身で勝負する人間になってほしいと思います。

ところで、私には「品格」や「内面からにじみ出る知性」を備えた女性が素敵に見えるのですが、男性諸君、いかがでしょうか？ 校内や街中にも品格の備わった女性は大勢います。女子のみなさんも内面の輝いた女性となれるように、自分自身を磨き続けていってください。

担任・副担任リレー・エッセイ 毎月、担任・副担任が担当するコーナーです。

本多コラム vol.7～ごみ拾いのすゝめ～ 本多 康朗

『トイレの神様』という曲をご存じでしょうか？ 歌手植村花菜さんの曲で、祖母の言葉や思い出を歌い上げた曲です。私がこの曲を初めて聴いたのは高校生のときでした。とても感動したことを今でも覚えています。曲の中ではトイレ掃除について注目していますが、掃除について、身の回りをきれいにするということについて、関心を持つきっかけになった曲でもあります。

皆さんにとっても身近な存在である（はずの）掃除ですが、自分の部屋、教室をきれいに使うことができますか？ 汚くしてしまったら、きれいにしようとしていますか？ 掃除していますか？ 自分に問いかけてみてください。

掃除というと、道具や時間を使って行うというイメージもあると思いますが、皆さんはいかがでしょう。皆さんが部屋の掃除をするときは簡単に終わりますか？ ちなみに私は、家の掃除をするときに、模様替えまで始めてしまい、卒業アルバムなどを発見して、1時間くらい見てしまい、中途半端のまま掃除を終えてしまう人です。（笑） 日ごろから掃除をしていないことがバレバレですね。日ごろからきれいにすることを心がけていれば短時間で終了するはずなのに、学習できていないですね。以後気を付けていきます。

ではここで、日ごろから行うことができ、道具も使わず、時間も少しで済む簡単な掃除の方法をご紹介します。それは「ごみ拾い」です。床に落ちているごみを手で拾って、ごみ箱に捨てる。これでごみ拾い完了です。もし落ちているものが鍵などの貴重品であれば、しっかりと届けてくださいね。

この「ごみ拾い」を重視しているスポーツ選手がいます。ご存じの方もいるかと思いますが、エンゼルスの大谷翔平選手です。大谷選手が高校1年生のときに立てた目標の中に「ごみ拾い」という項目がありました。新聞の記事やテレビの情報によると、大谷選手は人が落としてしまった運を得るために目標の中に入れていたようです。おもしろい考え方ですね。

ただ、人の運を得るといような考え方のみで、この「ごみ拾い」を大谷選手が大切にしたのは思えず、運以外に何かポイントがあるのではないか、「ごみ拾い」で何を得ることができるのかと私なりに考えてみました。その結果、「気付く力」、「実行する力」が得られるのではないかという結論になりました。

「気付く力」については、まずごみに気付かないとごみ拾いは始まりません。当たり前ですが、ごみがないところでごみは拾えません。もしごみがあってもごみに気付かなければ、ごみを拾うことができません。この「気付く力」があれば、友人の変化に気付くことができるかもしれません。チームのピンチに気付くことができるかもしれません。テスト中や模試中に同じような問題だと気付くことができるかもしれません。

「実行する力」については、ごみに気付いた後の話になります。実際、ごみがあると気付く、認識する方はたくさんいると思います。しかし、行動に移してこそ、何事も意味を成してくるのではないのでしょうか。「わかっていたんですけど、できなかったんですよ」という声を模試が終わってから聞いたことがあります。この「実行する力」につながっているのではないのでしょうか。

あくまで、「ごみ拾い」に関する私の考え方ですが、「ごみ拾い」はやられて嫌な人はいないと思います。校内美化のためにも、二つの力を養うためにも、小さなところからコツコツと、「ごみ拾い」やってみませんか？



2月の予定（3月上旬まで）

1（土）	サタスタ（①社会・②社会）
7（金）・ 8（土）	進研 大学入学共通テスト 早期対策模試（マークシート方式） ※全員受験 ※マークミスのないように。自己採点できるように自分の答えを問題用紙に記しながら解きましょう。
13（木）	第2回 小論文模試〈6校時〉
15（土）	サタスタ（①英語・②数学）
20（木）	全校集会（式歌練習）・一斉指導（頭髪・服装検査） 〈6校時〉 ※卒業式に向けた頭髪・服装で検査を受けること。 □前髪は眉毛より下まで伸びていないこと □男子の横髪は耳が完全に出ていること □男子の後ろ髪は襟に付いていないこと □茶髪、変形でないこと □女子のスカート丈は正規の長さであること □ネクタイ、リボン着用 □靴下は白（女子は黒タイツ可） □男子はベルト着用 □ボタンがすべて付いていること □ズボンの裾にほころびがないこと ※不合格者は、より厳しい再検査を受けることになります。1回目で合格するようにしましょう。
22（土）	学年末考査前学校開放 ※全員登校 ※学校の方が効率よくできる学習と自宅の方がよい学習とに仕分けをしておきましょう。
23（日）	天皇誕生日・実用英語技能検定二次試験（該当者）
24（月）	天皇誕生日の振替休日
29（土）	卒業式予行・表彰式 ※学校に通常通り登校してクラスごとに文化センターへ徒歩で移動。正規の制服、指定革靴着用。特別教育活動時数のため、欠席・遅刻しないようにしましょう。
3／ 1（日）	卒業式 ※学校に午前11時50分まで登校。下校時刻は通常時とほぼ同じ。午後5時完全下校。正規の制服、指定革靴着用。特別教育活動時数のため、欠席・遅刻しないようにしましょう。
2（月）	卒業式の代休
3（火） ～6（金）	学年末考査 ※推薦やAO入試の場合、評定平均値が足りなければ一切出願できません。入試を意識して評定平均値、コース順位を少しでも上げられるようにしましょう。
7（土）	サタスタ（①理科・②理科）



▲3年次の出願に向けて、ポートフォリオに資格検定、部活動の実績、修学旅行や学習の記録などの入力を行う2年生。

保護者の皆様へ

3月1日は卒業証書授与式が行われます。かつて、成人式で大暴れした成人が報道されたときがありましたが、本校の卒業式は毎年、とても格調高く、厳粛な雰囲気の中で行われてきました。卒業生も立派な式を終えた後、学校や先生との別れを惜しみながらも笑顔で旅立っていきます。今回の行事を通して、2年生は成長した卒業生を見て、自分たちも1年後には先輩たちのようになりたいという憧れの気持ちを持つことでしょう。

そのような卒業式で、たった一人の心ない行いや服装・頭髪などが、式全体を台なしにしてしまうおそれもあります。そのようなことがないように、ホームルームや全校集会などで礼儀作法について指導していきます。この時期、頭髪・服装について厳しく指導してまいります。保護者の皆様におかれましてはその趣旨を十分にご理解ください。ご協力くださいますよう、お願いいたします。

ところで、記録的な暖冬と言われる今年の冬ですが、例年猛威を振るうインフルエンザは、今のところ校内においては学級閉鎖のような流行が見られません。ここで安心せず、引き続きお子さんの体調にもご注意ください。